



タノデアリマス、而シテ東京地方裁判所ヲ  
二ツニ分ケルト致シマスト、茲ニ分ケ方ニ  
二様ニヤリ方ヲ考ヘルコトガ出來ルノデア  
リマス、ソレハ現行法ヲ其儘ニ改メズシ  
テ、東京地方裁判所ヲ民事刑事併セタモノ  
トシテ二ツニ分ケマスル方法ガアルノデア  
リマス、デ斯様ニ致シマスルト云フト、第  
一東京地方裁判所、第二東京地方裁判所ト  
云フ風ニ區分イタシマシテ、設立ダケニ關  
スル法律ヲ出シマスレバ、即チ第一東京地  
方裁判所ニ於テモ、第二東京地方裁判所ニ  
於テモ民事刑事併セテ管轄スルコトニナル  
譯デアリマス、併シ若シ之ヲ民事ノミヲ管  
轄スル地方裁判所ト、刑事ノミヲ管轄スル  
地方裁判所ト二ツニ分ケルコトニ致シマス  
ルト、茲ニ裁判所構成法ヲ改正スル必要ガ  
出テ來ル譯デアリマス、而シテ民刑併セタ  
方裁判所ヲ二箇ニ分立イタシマスルカ、  
或ハ民事地方裁判所ト刑事地方裁判所ト云  
フモノノ分ケ方ニシテ二箇ニ分立イタシマ  
スルカ、此利弊ニ付テハ色ミアルノデアリ  
マス、現在迄既ニ民事刑事ヲ併セテ裁判ス  
ルモノトシテ通常裁判所ヲ拵ヘテ來テ居ル  
ノデアリマスカラ、此際ニ於テハ其儘東京  
地方裁判所ヲ第一第一ト云フガ如ク二ツニ  
致スコトニ於テヤルコトハ少シモ差支ヘナ

構成法ト云フガ如キ大法典ヲ改メテ、現實ニ即シタ必要ニ應ズル爲ニ左様ナコトヲ致スト云フコトハドウデアラウカト云フコトモ御尤ノコトト思フノデアリマス、併シ新タニ豫算ヲ取リマシテ東京地方裁判所ヲ民刑合セ第一第一ト云フガ如ク立テマシタ爲ニ敷地廳舍ノ建築ノ計畫ヲ致シマスルト云フト相當ノ金額ヲ要スルノデアリマシテ、從來ノ經驗ニ徵シマシテ今日ノ國家財政ノ關係ヨリ見マシテ速急ニ豫算ヲ得テ第二東京地方裁判所ノ建物ヲ造ルト云フコトハ容易ナコトデハナイト考ヘラレマスガ、何時ソレガ出來ルカ見當ガ付カナイノデアリマスルカラ、東京地方裁判所ヲ二箇以上ニ分立スル必要ガアルト云フ所カラ見マシテ、此廳舍ヲ利用シテ之ヲ實施シタイト云フノデ此處ニ提案ヲシタ譯デアリマスガ、然ラバ東京以外ニ他ニモ之ヲ及ボス考ガアルカト云フ御尋ニナルノデアリマスガ、差當リハ東京ヲ目掛ケテ此案ガ提案セラレタノデアリマス、併ナガラ大阪ハ御承知ノ如ク事務ノ繁劇ナルコト、職員ノ多キコトニ於テ東京ニ次グ大裁判所デアリマシテ、將來益々其事務職員ノ増加ヲ來スデアラウト思フノデアリマスルカラ、廳舍若シ此改正案ガ及ボサレルモノト致シマスルナラバ、大阪ノ地

方裁判所ニハ適用スル機會ガ出テ來ルノデ  
ハナカラウカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデ  
アリマス、今直ニ此案ガ出來タラ直グニ大  
阪ヲモ刑事地方裁判所、民事地方裁判所ノ  
二ツニ分ケルノデアルト迄ハ考ヘテ居リマ  
セヌ、相當ノ將來ニ於テハ左様ノコトヲ計  
畫セナケレバナルマイトハ考ヘテ居ルノデ  
アリマス、先ヅ以テ將來ニ於テ考ヘラレマ  
スノハ大阪地方裁判所ダケデアリマシテ、  
其他ニハ恐ラクス様ニ民事刑事ト分立スル  
地方裁判所ヲ建テルト云フヤウナ必要ガナ  
カラウト思フノデアリマス

○子爵濱尾四郎君 只今ノ御懇切ナル御答

辯ハ能ク諒承イタシマシタ、私ハ今ノ地方

裁判所ノ民事刑事ノ分レルコトハ異存ゴザ

ジ試ミヲ御ヤリニナラナイカ、詰リ換言ス

レバ當局ハ東京區裁判所ノ現狀ヲ以テ満足

シテ居ラッシヤイマセウカ、如何デゴザイマ

セウカ

○國務大臣(小原直君) 御尤ノ御尋デアリ

マス、東京地方裁判所ヲ二ツニ分ケル必要

ハ申シマシタ通リデアリマスルガ、寧ロ或

ハソレ以上ニ東京區裁判所ヲ二ツ以上ニ分

ケルト言ヒマスルカ、或ハ増設ヲスル必要ガ

アルト云フコトニ付テハ申上ゲル迄モナイ

○子爵濱尾四郎君 次ニチヨット是ハ抽象

的ナコトヲ先ヅ伺フノデアリマス、學說ニ

在ノ外ニ新タニ二箇以上、出來ルナラバ三

箇若クハ四箇ノ裁判所ヲ新設イタシタイト

云フ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シ是

モ亦財政ノ都合デ屢々計畫ヲ致シマシタガ

實現スルニハ到ラナイノデアリマス、差當

リ東京地方裁判所ニ其必要ガアリマシタカ

ラ此案ヲ提案イタシマシタ、是ガ實施セ

ラレマシタ後ニハ出來ルダケ早イ將來ニ於

キマシテ、東京區裁判所ノ新設ヲ計畫イタ

シマシテ場所ハ如何ニイタシマスルカ、一

ト所ニ纏メルカ、或ハ方々ニ分設ヲ致シマ

スルカ、是ハマダ計畫ヲ立テテ居リマセヌ

ガ、出來ルダケ近キ將來ニ於テ東京區裁判

所ヲ二箇以上新設イタシタイト云フ考ヲ

持ツテ居ルノデアリマス、而シテ其時ニ東京

ハ大學校ニ於テスラ既ニ刑事ニ屬スル者ニ

ガ、ソレニ反對スルノハ御承知ノ通リノ

ハ刑事ヲヤルト云フヤウナ、サウ云フヤウ

ナコトガアルト云フコトヲ聞イテ居リマ

ス、ソレニヤウナ立法デ、假ニ前者ヲ何

ト申シマスカ絶對分離主義ト名付ケマス

ト、後者ハマア非分離主義養成ノ方法デゴ

ザイマスガ、養成ノ方法ガサウナッテ居ル、

ソコデ先づ私ハ學說ノ御意見ヲ承リタイノ

デゴザイマスケレドモ、當局ハ今ノ二ツノ

制度ノ中ノ何レヲ是ナリト御考ニナッテ居

ラッシヤルノデアリマセウカ、ソレガ先づ

ト云フコトハ國情カラ見テ適當デナイト云

フ考デ、今日ニ至ルマデ民刑併セテ用ヒ得

テ居ルノデアリマス、ソコデ此法案ニ於テ

コトナンデアリマス、既ニ餘程古イ時カラ  
東京區裁判所ノ事務ノ繁劇ト職員ノ多數ト  
其混雜トヲ除クガ爲ニ、少クモ東京ニハ現  
在ノ外ニ新タニ二箇以上、出來ルナラバ三  
箇若クハ四箇ノ裁判所ヲ新設イタシタイト  
云フ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シ是  
モ亦財政ノ都合デ屢々計畫ヲ致シマシタガ  
カ」ノ一部ニ於テ相當有力ナ學說、或ハ「ド  
イツ」ノ學說ノ一部ニモ支持者ガアルヤウ  
イズガ、其學說ニハ例ヘバ將來刑事ノ判事  
ニスルト云フ場合ノ養成法デゴザイマス  
カ」ノ一部ニ於テ相當有力ナ學說、或ハ「ド  
マスケレドモ、濱尾男爵ト稱サレレバ私ノ  
コトデアリマセヌノデスガ、別個ノ人格ニ  
御答ニナルコトニナリマス

○子爵濱尾四郎君 取消シマス、濱尾

マスケレドモ、濱尾男爵ト稱サレレバ私ノ

コトデアリマセヌノデスガ、別個ノ人格ニ

ラレマシタ後ニハ出來ルダケ早イ將來ニ於

キマシテ、東京區裁判所ノ新設ヲ計畫イタ

シマシテ場所ハ如何ニイタシマスルカ、一

ト所ニ纏メルカ、或ハ方々ニ分設ヲ致シマ

スルカ、是ハマダ計畫ヲ立テテ居リマセヌ

ガ、ソレニ反對スルノハ御承知ノ通リノ

ハ刑事ヲヤルト云フヤウナ、サウ云フヤウ

ナコトガアルト云フコトヲ聞イテ居リマ

ス、ソレニヤウナ立法デ、假ニ前者ヲ何

ト申シマスカ絶對分離主義ト名付ケマス

ト、後者ハマア非分離主義養成ノ方法デゴ

ザイマスガ、養成ノ方法ガサウナッテ居

ラッシヤルノデアリマセウカ、ソレガ先づ

ト云フコトハ國情カラ見テ適當デナイト云

フ考デ、今日ニ至ルマデ民刑併セテ用ヒ得

テ居ルノデアリマス、ソコデ此法案ニ於テ

○子爵濱尾四郎君 次ニチヨット是ハ抽象

的ナコトヲ先づ伺フノデアリマス、學說ニ

在ノ外ニ新タニ二箇以上、出來ルナラバ三

箇若クハ四箇ノ裁判所ヲ新設イタシタイト

云フ計畫ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シ是

モ亦財政ノ都合デ屢々計畫ヲ致シマシタガ

カ」ノ一部ニ於テ相當有力ナ學說、或ハ「ド

マスケレドモ、濱尾男爵ト稱サレレバ私ノ

コトデアリマセヌノデスガ、別個ノ人格ニ

ラレマシタ後ニハ出來ルダケ早イ將來ニ於

キマシテ、東京區裁判所ノ新設ヲ計畫イタ

シマシテ場所ハ如何ニイタシマスルカ、一

ト所ニ纏メルカ、或ハ方々ニ分設ヲ致シマ

スルカ、是ハマダ計畫ヲ立テテ居リマセヌ

ガ、ソレニ反對スルノハ御承知ノ通リノ

ハ刑事ヲヤルト云フヤウナ、サウ云フヤウ

ナコトガアルト云フコトヲ聞イテ居リマ

ス、ソレニヤウナ立法デ、假ニ前者ヲ何

ト申シマスカ絶對分離主義ト名付ケマス

ト、後者ハマア非分離主義養成ノ方法デゴ

ザイマスガ、養成ノ方法ガサウナッテ居

ラッシヤルノデアリマセウカ、ソレガ先づ

ト云フコトハ國情カラ見テ適當デナイト云

フ考デ、今日ニ至ルマデ民刑併セテ用ヒ得

テ居ルノデアリマス、ソコデ此法案ニ於テ

東京ノ地方裁判所ニ限リ民事地方裁判所、  
刑事地方裁判所ヲ設ケルノデアリマスガ、  
是ハ決シテ裁判官ヲ専門的ニ致サウト云フ  
趣旨ニ依ルノデハナイノデアリマシテ、先  
程御説明ノ中ニ事務ノ性質、職能ニ從ツテ分  
立スルコトガ又一方法デアルカラ、斯様ナ  
コトヲシタノデアルト云フコトモ申上ゲタ  
ノデアリマスガ、ソレハ理由ノ一つデアリ  
マス、併シ其理由ラ大原則トシテ是ノミニ  
依ッテ、今度分立サセルト云フ案ヲ立テタノ  
デハナイノデアリマシテ、寧ロ何レカト云  
フナラバ、民刑何レニモ使ヒ得ル裁判官ヲ  
養成シテ行クト云フコトガ、日本ノ國情  
ニ於テ裁判制度ノ上ニハ望マシイモノデ  
アルト考ヘテ居リマス、ソレ故ニ今日モ  
司法官試補ヲ採用イタシマシテ以來、其  
習修ニ於キマシテモ、民刑何レニモ用  
ヒ、甚シキハ検察官ニモ用ヒルヤウニ習修  
ヲサセテ居ルノデアリマシテ、習修ノ終ニ  
於テ才能ノ適否、本人ノ希望、司法部ニ於  
ケル員數、職員ノ分別等ノ必要カラ、或ハ  
檢事ニ採用シ、或ハ判事ニ採用イタシテ居  
ルノデアリマス、サウシテ其判事ハ民刑何  
レヲ問ハズ、其習修シタ所ヲ用ヒテ、所謂「ア  
メリカ」ナドノ制度ハ採ラナイデ、寧ロ「イ  
ギリスト」方法ヲ御採ニナツテ居ルヤウニ  
ルコトヲ努メテ、成ルベク一年、二年、或

ハ三年ノ後ニハ民事、刑事各交代セシムテ、  
其偏倚スルコトヲ防グヤウニ致シテ居ルノ  
デアリマス、此案ヲ實行イタシマスル後ニ  
於キマシテモ、矢張リ此原則ハ立てテ行キ  
タイト思フノデアリマス、ソレ故ニ第二十  
五條ノ三ニ民事地方裁判所、刑事地方裁判  
所ノ判事ハ互ニ代理シ得ルコトヲ規定シテ  
居ルノデアリマス、此代理ノ規定ニ依リマ  
シテ、民刑ノ偏倚スル防グ一ツノ方法ト  
致シ、尙ホ人事行政ノ運用ノ上ニ於キマシ  
テ、民事地方裁判所判事ト刑事地方裁判所  
判事ト、成ルベク互ニ兼務ヲセシメテ、交  
互ニ一定ノ時期、或ハ適當ナ時期ニ於テ交  
代シ得ルヤウニサセル、斯ウ云フコトデ民  
事地方法官試補ハ兩方ニ通ズルヤウニ現ニ御  
養成ニナツテ居ラシヤイマスケレドモ、同  
時ニ其間ニ是ハ刑事ニ向クトカ、是ハ民事  
ニ向クト云フヤウニコトモ、  
是カラ御考ニナルノデゴザイマセウカ

○子爵濱尾四郎君 大變諱ク伺ヒマスガ、  
モウ少シ伺ヒタイコトガアリマス、是ハ百  
三十五條ノ監督ノ權限デゴザイマスガ、「此  
民事地方裁判所及刑事地方裁判所アル場合  
ニ於テハ控訴院長又ハ其ノ指定シタル民事  
地方裁判所長若ハ刑事地方裁判所長之ヲ行  
フ」、斯ウ云フ文章ニナツテ居リマスガ、是ハ  
實際上ノ運用ニ付テハドウ云フ風ニ御考ヘ  
ニナツテ居ラシヤルノデアリマスカ

○國務大臣(小原直君) 従來司法省試補  
管内ノ支部及區裁判所ノ事務ノ監督ニ付キ  
マシテハ、民事地方裁判所、刑事地方裁判  
所ガアル時ニハ控訴院長自カラ之ヲ行ヒ、  
又ハ地方裁判所又ハ民事地方裁判所長ヲ指  
定シテ之ヲ行ハシムルト云フ風ニ書イテ居  
ルノデアリマス、法案トシテハ斯ウ云フ風  
ニ書クノガ適當ダト思ツテ居リマスガ、要ス  
ルニ場合ニ依リマシテハ、控訴院長自ラ監  
督權ヲ行ヒ、或ハ民事、刑事地方裁判所長  
ノ何レカラ指定シテ行ハシメテ、ソレヲ交  
互ニ交代セシムルト云フヤウナコトモ皆ヤ

承ッテ宜シウゴザイマスカ、ソレカラ續イ  
テ、殆ド仰シヤイマシタカラモウ承ル必  
要ガナイヤウナモノデゴザイマスガ、次ニ  
斯ウ云フコトニ承ッテ宜シウゴザイマセウ  
カ、詰リ司法官試補ノ養成ニ於テ、矢張リ  
ニ通ジルヤウニ養成サレテ居ラレルノダト  
云フ風ニ私ハ考ヘマスケレドモ、更ニ各個  
ニ其長所及技能ヲ見テ、サウシテ其研究モ  
矢張リ計算ノ中ニ御加ヘニナリマスカ、詰  
リ司法官試補ハ兩方ニ通ズルヤウニ現ニ御  
養成ニナツテ居ラシヤイマスケレドモ、同  
時ニ其間ニ是ハ刑事ニ向クトカ、是ハ民事  
ニ向クト云フヤウニコトモ、  
是カラ御考ニナルノデゴザイマセウカ

○國務大臣(小原直君) 法案ニ地方裁判所  
管内ノ支部及區裁判所ノ事務ノ監督ニ付キ  
マシテハ、民事地方裁判所、刑事地方裁判  
所ガアル時ニハ控訴院長自カラ之ヲ行ヒ、  
又ハ地方裁判所又ハ民事地方裁判所長ヲ指  
定シテ之ヲ行ハシムルト云フ風ニ書イテ居  
ルノデアリマス、法案トシテハ斯ウ云フ風  
ニ書クノガ適當ダト思ツテ居リマスガ、要ス  
ルニ場合ニ依リマシテハ、控訴院長自ラ監  
督權ヲ行ヒ、或ハ民事、刑事地方裁判所長  
ノ何レカラ指定シテ行ハシメテ、ソレヲ交  
互ニ交代セシムルト云フヤウナコトモ皆ヤ

リ得、且ツヤッタ方ガ宜カラウト思ッテ、斯様ナ規定ヲ設ケテ居ルノデアリマス、併シ實例ヘバ東京區裁判所ニ付テ申シマスルト、區裁判所ノ刑事、民事ノ事務ニ從ツテ刑事地方裁判所長、民事地方裁判所長ヲシテ監督セシムルト云フコトガ、宜クハナカラウカト思フノデアリマス、即チ東京區裁判所ノ刑事部ノ仕事ハ、東京刑事地方裁判所長ヲシテ監督セシメ、東京區裁判所ノ民事部ノ事務ハ、東京民事地方裁判所長ヲシテ監督セシムルト云フコトニシタ方ガ宜クハナカラウカト思フデアリマス、唯大體左様ナ腹案ヲ持ツテ居ルノデアリマス、イマーツハ、現ニ東京區裁判所ノ民事部ノ大部分ノ職員ハ、今度設ケラレマスル民事地方裁判所ノ建物ノ中ニ入レルコトニナッテ居リシテ監督セシムル方ガ宜カラウト思ッテ居ルノデアリマス

○子爵濱尾四郎君 モウニツ質問ヲ許シテ戴キタイト思ヒマス、是ハチヨット大キイ問題ニナリマスケレドモ、司法大臣ハ司法制度ノ改善ト云フコトニ付テ、非常ニ御心ヲ持ツテ居ラシヤルヤウニ考ヘラレルノコトト思ヒマスガ、勿論澤山アルコト思ヒマスガ、今當局ハ此裁判所構成法ノ改正ハ、此程度デ以テ十分デアルト御考ヘニナッテ居ラシヤルカ、詰リ換言スレバ、此程度以外ニ改正ヲ加ヘルモノハナリト、御思ヒニナッテ居ラシヤルノデアリマスカ、其點ヲ御伺シタイト思ヒマス

○國務大臣（小原直君） 明年度ニ於キマシテハ、司法制度調査會ヲ設立イタシマシテ司法制度ノ全般ニ亘ツテ検討ヲシ、成案ヲ得テハ、司法制度調査會ヲ設立イタシマシテマシテ、其案ニシテ適當ノモノデアリマスレバ改正ヲ致サウト考ヘテ居ルノデアリマス、ナイト考ヘテ居リマス、左様ナ場合ニ於キマシテ、其案ニシテ適當ノモノデアリマスレバ改正ヲ致サウト考ヘテ居ルノデアリマス

○子爵濱尾四郎君 最後ニ是ハ少シ詰問的ノ質問ニナリマスノデ甚ダ恐縮ナンデアリマスケレドモ、八十六條第一項ノ問題デゴザイマス、書記、監督書記ノ問題デゴザイマスケレドモ、我ニ内部ニ居タコトガアル者ハ監督書記ノ事務ト云フモノハ相當重大ナリト云フコトヲ多少認識シテ居ル次第デゴザイマス、然ル處此構成法ノアレヲ見ルニ即シテ、之ヲニツニ分ケル必要ガアルノ外ニ裁判所書記……檢事局書記課ノ獨立、デ、特ニ提案ヲ致シタノデアリマシテ、其ニ即シテ、之ヲニツニ分ケル必要ガアルノ改訂案ヲ致シタノデアリマシテ、其ノ改訂案シテ監督セシムルコトニ付テ改正ヲ加ヘタイト提格セシムルコトニ付テ改正ヲ加ヘタイト提案シタノデ、是ハ敢テ早急ヲ要スルト云フ意味デハアリマセヌガ、幸ニ裁判所構成法ノ改正ヲ致スノデアリマスカラ、多年ノ間題デアツテ極メテ簡単ノ事柄ヲ此度改正シテ監督書記トカ、ソレカラ東京大阪ナドノ大都市ノ地方裁判所ニ屬スル書記及ビ檢事局ノ監督書記ヲ、書記長トアソバスベキモノヤナカト云フ風ニ考ヘルノデゴザイマスガ、ドウ云フ譯デ是ハ此程度ニテ御

長カラザル將來ニ於テ少クモ控訴院ノ檢事局ノ監督書記、之ニ加ヘテ東京、大阪ノ地方裁判所及檢事局ノ監督書記ヲ書記長ニ昇格セシメルト云フヤウノ案ヲ提案イタシタ  
イト考ヘテ居ルノデアリマス  
○子爵濱尾四郎君 大變長ク時間ヲ取りマ  
シテ恐縮デゴザイマス、色々質問申上ゲタ  
點ニ付テ大臣ヨリ御丁寧ナル御答辯ヲ戴キ  
マシタコトヲ甚ダ感謝イタシマス、私ノ質  
問ハ之ヲ以テ打切りマス

○仁井田益太郎君 チヨット伺ヒマスガ、實  
ハ私ハ根本論ヲスル考ヘハナカッタノデア  
リマス、實際此案ハ必要ト思ッテ贊成シタイ  
ノデアルノデアリマスルガ、實ハ矢張リ委  
員會デ相當論議ヲ重ネ、又色々御意見ヲ伺ッ  
テ置ク方ガ、結局本會議ニ於テ必要モアラ  
ウト思ヒマスカラ、一應伺ヒタイノデス  
ガ、御承知ノ通リ憲法ニハ裁判權ヲ行フト、斯ウ  
依リ天皇ノ名ニ於テ裁判權ヲ行フト、斯ウ  
云フヤウニ書イテアルノデスガ、文字ハ其  
通リデアリマスカドウデスカ、其意味ハ民  
事タルト刑事タルトヲ問ハズ、詰リ裁判ヲ  
スルト云フ立前デ憲法ガ出來テ居ルト私ハ  
思フノデアリマス、成程法律ニ依リトアル  
カラ裁判所ノ其權限ハ或ル裁判所ハ民事ノ  
ミニ限ル、或ル裁判所ハ又刑事ノミニ其權

リト云フ言葉ノ中ニ含マレテ居ルト云フ解釋モ出來ルデアリマセウガ、自體廣ク民事タルト刑事タルトヲ間ハズ裁判ヲ行フト云ノガ、一體私ハ憲法ノ趣意デヤナイカト思フノデス、デアルカラ其點ニ付テノ一應此委員會ノ結果ヲ報告セラル上ニ於テ、サウ云フ御見解モ明カニシテ置ク方ガ宜イノデヤナイカ、萬一本會議デサウ云フ問題デモ起ルト云フヤウナ場合ガナイトモ是ハ限ラナイト思フノデアリマス、ソレカラ第ニハ私ハ裁判所ト云フモノハ全ク職員ガ多數デアリ、從ツテ事件モ多イカラ、監督ノ上デ是ハ分ケナケレバナラヌト云フコトカラ出タト心得テ居ルノデアリマスガ、サウスレバ詰リ地方裁判所ハ二ツ置クト云フノガ、是ハ最モ適切ナ方法デ強テ裁判所構成法ヲ改正セズトモ宜イコトニナルノデアリマスカラ、然ルニ之ヲ民事地方裁判所、刑事地方裁判所ト分ケルニ付テハ、確カ先程御説明ガアッタト思ヒマスガ、民事ノミヲ取扱フ裁判所、刑事ノミヲ取扱フ裁判所ト云フ工合ニシテ、此性能ニ依ツテ分カレルト云フノガ適當デアルト云フ御考デアッタラシク思フノデス、サウナルト、其民事及刑事ニ付テノミ裁判ヲスルト云フ性能ノ上カラ裁判所ノ權限ヲ限ル

ト云フ意味ガ強ク出テ來ナケレバ、私ハ地  
方裁判所ヲニツ以上置クト云フ議論ヲ排  
シテ裁判所構成法迄モ變ヘテ、斯ウ云フニツ  
ノ民事地方裁判所、刑事地方裁判所ヲ置ク  
ト云フ理由ガ乏シトイ思フノデアリマス、  
性能ノ上ニ於テ是ハ分ケル方ガ非常ニ宜イ  
ト云フコトデアレバ、成程之モ宜カラウト  
思ヘルノデアリマスガ、元來ハ地方裁判所  
ハニツ置クト云フノガ本當ノ立前デハナイ  
カ、先程ノ御説明ニ依ルト區裁判所ニ付テ  
ハ民事區裁判所刑事區裁判所ト云フコトニ  
分ケルカ、或ハ別ミナモノヲ置クカ其處ハ分  
ラヌト云フ御話デアリマスガ、其案ニシテ  
既ニ性能ニ依テ分ケルト云フノガ適當デア  
ルト云フ意味デ是ガ出來テ居ルモノナラバ、  
區裁判所ヲ地方ニ置ク場合ニ矢張リ刑事區  
裁判所、民事區裁判所ヲ置クト云フコトガ、  
既ニ考ヘラレテ居ル問題デナケレバナラヌ  
ト私ハ考ヘマス、成程地方裁判所ヲ二箇以  
上置クト云フコトハ、管轄ヲドウスルカト  
云フコトヲ大イニ考慮スペキコトデアルト  
思ヒマスガ、從來ノ事件ノ件數ト云フモノ  
ヲ考ヘテ見レバ、管轄區域ヲ定ムルト云フ  
コトハ必ずシモ面倒デハナイト思ヒマス、  
デアリマスカラ之ヲ民事地方裁判所刑事地  
方裁判所ト云フコトニ分割スル、之ヲ區別

當ノ理由ガナケレバナラヌト私ハ思フノデ  
アリマスカラ、ソレ等ノ點ヲ一應委員會ニ  
於テ確メテ置キタイト思ヒマス、無論此二  
箇ノ地方裁判所ヲ置クト云フコトニ付テハ  
十分御考慮ニナツタト思ヒマスガ、サウ云フ  
方法ヲ採リサヘスレバ何モ裁判所構成法ヲ  
改正スル迄ノコトハナイノデアリマスカラ、  
裁判所構成法ヲ改正スルト云フコトニ付テ  
ハ、ドウシテモ民事地方裁判所、刑事地方  
裁判所ト云フニツニスルノガ適當ダ、斯ウ  
云フコトガ餘程強イ理由ヲ以テデナケレバ  
私ハ議論ハ通ラヌト思ヒマス、ドウシテモ  
是ハ地方裁判所ト云フモノヲニツ置クト云  
フ立前ニ行クノガ當リ前デ、其方ガ順當デ  
アリマスカラ、ソレヲ排シテ、而モ刑事ト  
民事ト裁判所ヲ別ニ置クト云フコトガ、是  
ガ性能ニ依テ區別スルノダ、斯ウ云フ理由  
ガ餘程強クナケレバナラヌ、而モ此理由書  
ヲ拜見スルト其處ガ甚ダ曖昧ダ、唯事件ガ  
多イシ職員ガ多イシ、サウ云フモノハ是ハ  
分ケル方ガ宜イト云フ外ニ見エナイノデア  
リマス、民刑各個ノ裁判所ニ分離スルト云  
フコトニ付テノ強イ理由ト云フモノガナケ  
レバナラヌト思フシ、又理由ニモソレガ現  
レテ居ラヌノデアリマスガ、一應此委員會

ニ於テ一ツ御意見ヲ伺ッテ置キタイ

○國務大臣(小原直君) 仁井田君ノ御尋ニ

對シテ御答イタシマス、最初ノ御尋ノ通常

裁判所ハ裁判所構成法ニ依ッテ民事刑事ヲ

裁判ストアリ、而シテ憲法ノ規定ニハ司法

權ハ天皇ノ名ニ於テ法律ニ依リ裁判所之ヲ

行フト第五十七條ニ定メテアルカラシテ、

寧ロ憲法ノ規定ニ依ッテ定メラレタ裁判所

構成法ノ定メル所ニ依ッテ民事刑事ヲ併セ

テ裁判スルト云フコトガ憲法ノ趣旨ニ合ス

ルモノデアリハセヌカト云フ御趣旨ノ御尋

ト承リマシタ、併シ申上ダルマデモナク憲

法第五十七條ニ於テ司法權ハ天皇ノ名ニ

構成ハ法律ヲ以テ之ヲ定ムトアリマスカラ、

詰リ憲法ノ規定ニ從ツテ設ケラレタ裁判所

構成法ニ依ッテ裁判所ノ構成ヲ定ムレバ、憲

法ノ趣旨ニハ毫モ反スルノデハナイノデア

リマス、裁判所構成法ニ定メル所、現行法

ハ民事刑事併セテ裁判スルトアリマスガ、

ヲ管轄スル裁判所ヲ設ケルト云フコトニ致

シマシテモ、憲法ノ趣旨ニハ抵觸ラスルノ

デハナインデアリマス、ソレ故ニ今回ノ提

案ガ憲法ノ趣旨ニ副ハザルモノデハアリハ  
セヌカト云フ御尋ニ對シテハ、然ラズト御

答ヲ申上ダテ宜カラウト思フノデアリマス、

更ニ第二段ノ御尋ノ東京地方裁判所ヲニツ

ソレヲ民事刑事ト分ケルト云フコトニスル

ト、ソコニ斯ノ如ク其性能ニ從ツテ分ケルト

云フコトニ強イ理由ガナケレバナラヌト云

マスノデ、是ハ先程來申上ダシタヤウニ

フ御尋デアリマス、誠ニ御尤ナコトデアリ

マスノデ、是ハ先程來申上ダシタヤウニ

ニ考ヘマスノデ、之ヲ民刑併セタルニツニ

スルト云フヨリモ、民事刑事各分立シタル

ス、唯先程濱尾子爵ノ御尋ニ對シテ御答申

シマシタヤウニ、斯ノ如クスルト、又判事

ヲ作ル處モアリマスカラ、其弊ヲ避クル爲

ノ中デ刑事又ハ民事ノミニ偏リ過ギタモノ

ニ兩裁判所ノ判事ニ代理ノ制度ヲ設ケ、更

二様ノ方法ガアル、ソコデ民事刑事分立ス

ル方法ヲ採ルト致シマスト、茲ニ何故之ヲ

分立シナケレバナラヌカト云フ理由ガナケ

レバナラヌト云フコトニナルノデアリマ

ス、此點ニ付キマシテハ我國ノ通常裁判所

ヲ全部斯ノ如ク其職能ニ從ツテ民事刑事ニ

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

所ノ諸法案、裁判所ノ廢止及設置ニ關スル

法律案、大正二年法律第九號中改正法律

案、辯護士法中改正法律案、執達吏規則中

改正法律案、執達吏手數料規則中改正法律

案、是等ノ諸案ニ付テ御質疑ガアルナラバ

御質問ヲ願ヒマス、別ニ御質疑ガゴザイマ

セヌカ……司法代書人法中改正法律案、是

ス、唯先程濱尾子爵ノ御尋ニ對シテ御答申

シマシタヤウニ、斯ノ如クスルト、又判事

ヲ作ル處モアリマスカラ、其弊ヲ避クル爲

ハ昨日モ質問ガゴザイマシタガ、今日尙ホ

セヌカ……司法代書人法中改正法律案、是

ス、此點ニ付キマシテハ我國ノ通常裁判所

ヲ全部斯ノ如ク其職能ニ從ツテ民事刑事ニ

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

所ノ諸法案、裁判所ノ廢止及設置ニ關スル

法律案、大正二年法律第九號中改正法律

案、辯護士法中改正法律案、執達吏規則中

改正法律案、執達吏手數料規則中改正法律

案、是等ノ諸案ニ付テ御質疑ガアルナラバ

御質問ヲ願ヒマス、別ニ御質疑ガゴザイマ

セヌカ……司法代書人法中改正法律案、是

ス、唯先程濱尾子爵ノ御尋ニ對シテ御答申

シマシタヤウニ、斯ノ如クスルト、又判事

ヲ作ル處モアリマスカラ、其弊ヲ避クル爲

ハ昨日モ質問ガゴザイマシタガ、今日尙ホ

セヌカ……司法代書人法中改正法律案、是

ス、此點ニ付キマシテハ我國ノ通常裁判所

ヲ全部斯ノ如ク其職能ニ從ツテ民事刑事ニ

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑

メルト云フコトニシテ、其弊ヲ防ギタイト

云フコトヲ申上ダタノデアリマシタ、民刑



カ、詰リ前ニ差押ヘルコトガ出來ナイ財產ヲ定メテ貰ヘバ、債務者ハ満足シテモ然ルベキデハナイカ、ソコマデ面倒ヲ見テヤルナラバ益、煩雜ニナルト思ヒマスガ……

○政府委員(大森洪太君) 裁判事務ガ甚ダシク煩雜ニナルデアラウ、斯ウ云フ御尋ハ御尤ト思フノデアリマス、唯五百七十條ノ二ノ第一項ノ要件ヲ相當嚴重ニシテ居リマシテ、從ツテ申立ノ事案ハ相當多クナルカモ知レマセヌガ、果シテ此要件ニ該當スル事案が相當多數アルカドウカ、今日見究メモ付キマセヌガ、ソレガ爲ニ極メテ忙シクナルモ思ハレナイト今日ハ考ヘテ居リマス、既ニ第一項ニ依ツテ許シタ裁判ガサウ多數ナイナラバ第二項ニ依ル變更ハ又更ニソレヨリ少ナクナルコトハ當然デアリマス、サウ甚ダシク忙シクナラナイダラウト思ッテ居ルノデアリマス、尙ホ第二項デ伸縮ヲ許シマシタ理由ハ、第一項デ取敢ヘズ差當リノ最小限度ノ定メダケヲシテ置キマシテ、實際事情ノ經過ニ待チマシテ、之ヲ伸縮スルト云フ途ヲ開イタ方ガ第一項ノ定ヲ爲シカト考ヘタノデアリマス、第一項既ニアル以上ハ、第二項デ更ニ伸縮ノ途ヲ開クノハ稍鄭重ニ過ギルト云フ御考ハ御尤ト思ヒ

マスガ、最モ適正ニ適用ヲ圖リマシテ、甚ダシキ支障ヲ來サナイヤウニ心得タイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○仁井田益太郎君 是ハ質問ト云フ意味デモナイノデスガ、實ハ裁判所ノ取扱方デ七百五十條ト云フモノハ實際空文ニナリ得ルコトニナラヌトモ限ラヌノデスカラ、非常ニ之ヲ嚴格ニシテ、顯著ナル理由アル時トカ、色ミムヅカシイ要件ガ備ツテ、是ガ當嵌ル場合ハ極メテ稀デヤナイカ、「債務者カ誠實ニシテ債務履行ノ意思アリ且債權者ノ経付キマセヌガ、ソレガ爲ニ極メテ忙シクナルトモ思ハレナイト今日ハ考ヘテ居リマス、カシクテ、裁判所ヘアンナ申立ラシタッテ通ラヌ、ソンナコトヲ債務者ガ觀念スレバ、實際行ハレヌコトニナルノデスカ、サウ云フ點ハ然ルベク司法當局トシテ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデスガ、餘リ嚴格ナ取扱ヲ

○子爵瀬尾四郎君 私ハ本案ニ對シテ決シテ反對スル意味デ伺フノデヤナインデアリマス、當局ノ御苦心ノ程ハ能ク諒承イタスニ第デアリマスガ、チヨット質問イタシタノデアリマス、其一ツハ今ノ五百七十條ノ二ノ裁判ニ依ル保留ノ規定ガ、五百七十條ノ規定ニ必要ナル限度ニ於ケル餘裕ヲ附セムトスルコトニナッテ居リマスガ、其趣旨ハ私ハ贊成イタシマスケレドモ、斯ウ云フ條文ガ他ニ類例ガゴザイマスデセウカ○政府委員(大森洪太君) 此第五百七十條ノ二ノ立法上ノ趣旨ハ只今モ御指摘ニナリマシタ通り、第五百七十條ニハソレド限度ガ決メアルノデアリマシテ、其限度ガ

○子爵瀬尾四郎君 次ニ是ハ是カラ行ハレルモノデゴザイマスカラ、ドウモ例ヲ伺フト云フ譯ニハ無理カモ知レマセヌガ、第五百七十條ノ二ノ規定ヲ適用爲サルヤウナチヨツト事例ヲ伺ヒタイトノデゴザイマスガ……○政府委員(大森洪太君) 只今仁井田先生カラ御指摘ニ相成リマシタ通り、此五百七十條ノ二ノ適用ハ是ハ餘程注意ラシナケレ

バナラナイ問題デアリマシテ、具體的ノ事案ガ出テ參リマセヌ其先キニ、斯ウ云フノガ適例デアルト云フコトハ、實ハ甚ダ困ルノデアリマス、ケレドモ私共或ハ机上ノ空論デアリマスルガ、極メテ極端ナ場合ヲ豫想シテ見マスルナラバ、譬へバ今度債務者及其家族ニ必要ナル三ヶ月ノ食料、薪炭、是ハ保留セラセラレルコトニナッテ居リマス、三ヶ月分ヲ保留シタ所ガ、債務者ニハ外ニハ財産ガ何ニモナイガ、唯其以外ニ尙ホ幾月分カノ食料ガアル、然ルニ其債務者或ハ特ニレドモ、其費用モナイ、唯三ヶ月ハ必要ナル食料トシテ保留シテアルガ、其外ニ一个月、一个月半ノ食料、之ヲ以テ藥餌ノ費用ニ充テル、サウデナケレバ到底費用ヲ調達スル見込ガナイ、斯ウ云フヤウナ場合ニ三个月分ハ五百七十條ニ依ツテ保留シ、又藥餌調達ノ費用ノ爲トシテ食料半个月、一个月或ハ二个月ト言ツタ工合ニ必要ナ限度デ此裁判デ、保留ヲスルト云フノガ、或ハ一例ニ相成ルカモ知レマセヌケレドモ、其外ニ御承知ノ五百七十條ノ各號ニ色ニ制限保留財產ガ書イテアルノデアリマスガ、是デマダ十分デナイ部分ガアリ得ルノデアリマス、例ヘバ

第四號ニ農業者ニ付テ或ル種類ノモノノ保留ガ書イテアリマスケレドモ、是ガ林業者ニドウ云フ工合ニナルカ、漁業者ニドウ云フ工合ニナルカ分リマセヌ點ガアリマスノミナラズ、漁業者林業者ニ對シテ矢張リ必要ナル場合ニ於テハ相當差押ヲ免レシメテ宜イモノモ具體的ノ場合ニハ出テ來ルデアラウト思フノデアリマス、要スルニ第五百七十條列舉ノモノ以外ニ或ル具體的ノ場合ニソレヲ保留シテヤラナケレバ債務者ガ到底助カラヌト云フ者モアリ得マセウト思フカ色ミノ主張モアッタヤウデゴザイマスガ、今度ノ改正案デハ三个月ト御決メニナッテシロトカ、或ハ三個月ヨリ多イ月ニシロトアラウカト考ヘテ居リマス

○子爵濱尾四郎君 非常ニ簡單ナコトデゴザイマスケレドモ、モウ一つ伺ヒタイ、同じ條文ニ規定サレタ證據方法ハ是ハ證明デゴザイマセウカ、或ハ又疏明ヲ以テ足ルトセラルルノデアリマスカ

○政府委員(大森洪太君) 五百七十條ノ二ノ證據方法ハ證明ノ積リデアリマス、丁度現行法ノ執行方法ニ對スル異議ト申シマスカ第五百四十四條、先づアレナドト同ジャウナ趣旨ノ規定ト心得マシテ證明トカ特ニスル所ハ、民事訴訟法ノ強制執行ニ關スル規定中改正イタシマシテ、本案ノ如キ趣旨

ノ案ヲ提案スルコトニ依テ之ヲ行フコトガ適當ダト考ヘテ提案シタ次第デアリマス、現行法ノ如ク食料薪炭一個月分差押禁止ヲスルコトデアリマシテハ、農業者其他困難ヲ感ジテ居リマスル者ノ生活保障トシテハ甚ダ不十分デアルト云フコトガ言ヘルノデアリマス、併ナガラ昨年提案セラレ、本年モ衆議院ニ議院提出案トシテ審議セラレテ居ラレル、其三个月ト御決メニナッテ御趣旨ハドウ云フ所ニゴザイマセウカ

○國務大臣(小原直君) 御尋ニ御答イタシマス、昨年農業者ノ食料差押禁止ニ關スル法案ガ議院カラ提出セラレマシテ衆議院ヲ通過シ、貴族院ニ廻ツテ來テ、貴族院ニ於テ結局審議未了ニ終ツタノデアリマス、其案ハ即チ農業者ノ食料一年分差押禁止ニ關スル案デアッタノデアリマス、其御審議ノ際ニ貴族院ニ於テハ決議ヲ以テ生活ノ窮状緩和ニ關スル適當ナル案ヲ政府ニ於テ提案スルヤウニト云フ御趣旨ガアッタノデアリマス、ソレニ基キマシテ政府ニ於キマシテハ一般國民ノ窮状緩和ニ關スル何等カノ成案ヲ得テ之ヲ提案シタイト考ヘタノデアリマスルテハ、今後ニ於ケル債權債務ノ成立ノ上ニザル損害ヲ負擔シナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、同時ニ又一年間ノ食料薪炭ノ差押ヲ禁止スルト云フコトニナリマシテハ俄ニ是ガ一年間ノ食料薪炭ノ差押ヲ禁止スルト云フコトニナリマシテハ思ハザル損害ヲ負擔シナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、同時ニ又一年間ノ食料薪炭ノ差押ヲ禁止スルト云フコトニナリマスル所ハ、民事訴訟法ノ強制執行ニ關スル其他是等ノ者ノ取引ニ非常ナル梗塞ヲ來ス惧ガアルノデアリマス、所謂農業者其他之

ノデアリマシテ、過去ノ債務者ニ取ッテハ非常ナ不當ノ利得ヲ與ヘ、同時ニ債權者ニ不當ノ損害ヲ與フルト同時ニ、將來ノ金融梗塞ヲ來スト云フコトニナリマスルト、寧ロ其豫期シテ居ル所ガ反對ニ現レテ、農業者等ニ於テモ非常ナル不便ヲ來シ、生活上ノ保障ヲ得ザルト云フコトニナル惧ガアルノデアリマスルカラ、到底此一年間ノ食料差押禁止ト云フガ如キコトハ定ムベキモノデナカラウト思フノデアリマス、然ラバ現行法ノ一个月ト、目論マレテ居ルヤウナ一年間ノ間ニドレ程ノ程度ニ於テ定メタナラバ現今ノ債務關係ニ甚シキ混亂ヲ來サズ、將來ノ商取引金融ノ上ニ於テ不便ヲ來サナイデアラウカト云フコトヲ考ヘマシテ、色ミノ事情ヲ考慮イタシマシタ結果、先ヅ提案ノ如ク三个月ノ食料薪炭ノ差押ヲ禁止スルト云フコトガ過去ノ債權債務ノ關係ヲ甚シク紛更セシヌズ、將來ノ取引ニ支障ヲ來サザルコトガ出來ルデアラウ、而シテ之ニ依テ農民其他ノ同程度ニアリマスル人ミノ窮状ノ緩和ヲ致シ、其生活ノ保障ヲ爲スコトガ出来ルデアラウ、斯ウ云フコトデ此案ガ成立

ノ者ノ生活ノ安定ニ資スル爲」、ト云フコ  
トニナツテ居リマスガ、此案ガ成立シテ實行  
後ニ果シテ三个月ガ不適當デアツタ場合、或  
ハ世間ノ事情ガ著シク變化ヲ來シテ、農業  
者其他ノ生活ノ安定ガ非常ニ向上サレタ場  
合、或ハ同ジヤウナ理由デ農業者其他ノ生  
活ノ安定ガ非常ニ悪化シタ場合、現在ノ事

ノハ大體ドウ云フ程度ニナツテ居リマスカ  
○政府委員(大森洪太君) 只今御尋ノ限度  
デアリマスルガ、實ハ各裁判所ニ依リマシテ  
多少ノ開キガアルノデアリマス、ソレハ地  
方ニ依ツテ狀況モ違ヒマセウシ、又當該事件  
ノ債務者タル人ノ業態ニモ多少ノ違ヒガア  
リマセウ、固ヨリ老若男女ニ依ツテモ相違ガア  
リマスルカラ一定ハ致シ兼ネルノデアリ  
マシテ、是迄起リマシタ事件ノ統計ヲ取ツテ  
見マシタガ、餘リ是ガ明確ナ根據ヲナスモ  
ノトモ思ハレマセヌケレドモ、先ヅ一人一

問ニナルノデスカ  
○委員長(木場貞長君) 民事訴訟法中改正  
法律案ニ付テデアリマス  
○男爵徳川喜翰君 御許可ニナルノハ結構  
デスケレドモ、我ミガ先程申合セマシタヤ  
ウニ、午前中ハ質問デ、午後ハ討論ヲスル  
ト云フコトヲ御承知ノ上デ御質問ガ願ヘレ  
バ贊成イタシマス  
○子爵濱尾四郎君 私モサウ云フ意味デ成  
ルベク簡単ニ御質問ヲ願フト云フコトデ贊  
成イタシマス

○仁井田益太郎君 私モ成ルベク……午後  
ハ討論ニ入ッテ早ク結末ヲ著ケタイト思フノ  
デスカラ、質問ノ爲ニ餘リ長クナラヌヤウ  
ニ一ツ願フト云フ意味デ私モ賛成イタシマ  
ス

○委員長(木場久長君) ンレテノ只今御異議  
キノ如クデスカラ、其御含ミデ御話ニナル  
條件トシテ許可イタシマス

○委員外議員（絲原武太郎君） 宜シウゴザ

イマス……私ハ當局ニ御尋イタシタイト忠  
ヒマスコトハ、法律上ノ無論關係ヲ及ボシ  
マスコトデアリマスガ、常識的ノ事柄ヲ御  
話シテ御尋シテ見タイト思フノデアリマ

ス、今回ノ農業者ニ對シマスル差押ニ關シ

100

• 10 •

第四部第一類 刑法中改正法律案特別委員會議事速記錄第三號

昭和十年三月十五日

貴族院

傍聴イタシテ居リマシテ、改正ノ御趣意ヲ拜承イタシマシタノデスガ、主ニ農業者ニ關係イタシマス債權竝ニ債務ノ關係デアリマスカラシテ、及ボシマス所ハ地主小作ノ關係ガ是ガ最モ濃イ深イ關係ヲ及ボスモノト想像イタサレルノデアリマス、衆議院ノ速記録ヲ見マスルト、債務者ニ關シマスル質問ガ非常ニ多イヤウデアリマシタガ、唯債權者即チ地主ニ關係イタシマスル方面ノ質問ハ至ッテ少ナカッタヤウニ拜見イタシマシタ、固ヨリ此法律ハ金錢債務ニ付テノ關係デアリマスカラシテ、物件ニ付キマシテハ除外サレテ居ルデアラウト考へマスルガ、地主小作間ノ債權債務ノ關係ハ、固ヨリ物品即チ玄米ヲ以チマシテ地主小作間ノ債權債務ノ契約ガ多イノデアリマス、併ナガラ地方ニ依リマスト桑園トカ、其他果樹トカ、特殊ナルモノデ、必ズシモ玄米ニ依ルノデアリマセヌ、所謂使用料、小作物、金錢ニ依リマシテ小作料ノ契約ヲ致シテ居ルノデアリマス、茲ニ於キマシテ全ク金錢債務ニ關係スル法律案トハ申シナガラ必ズシモ是ガ全部除外セラレルモノモ考ヘラレナイ、伺ヒマス要點ハ此御改正ハ固ヨリ社會立法ト云フモノヲ主トセラレマンテ、數年以來懸案ニナッテ居リマスル所ノ農業ニ付キマシテモ支障ヲ起シハシマイカ

民ノ生活上ニ付キマシテ、能ク御考慮ニナリマシタ結果、茲ニ御苦心ノ結果御改正ニナマスカラシテ、及ボシマス所ハ地主小作ノ關係ガ是ガ最モ濃イ深イ關係ヲ及ボスモノト想像イタサレルノデアリマス、衆議院ノ速記録ヲ見マスルト、債務者ニ關シマスル質問ガ非常ニ多イヤウデアリマシタガ、唯債權者即チ地主ニ關係イタシマスル方面ノ質問ハ至ッテ少ナカッタヤウニ拜見イタシマシタ、固ヨリ此法律ハ金錢債務ニ付テノ關係デアリマスカラシテ、物件ニ付キマシテハ除外サレテ居ルデアラウト考へマスルガ、地主小作間ノ債權債務ノ關係ハ、固ヨリ物品即チ玄米ヲ以チマシテ地主小作間ノ債權債務ノ契約ガ多イノデアリマス、併ナガラ地方ニ依リマスト桑園トカ、其他果樹トカ、特殊ナルモノデ、必ズシモ玄米ニ依ルノデアリマセヌ、所謂使用料、小作物、金錢ニ依リマシテ小作料ノ契約ヲ致シテ居ルノデアリマス、茲ニ於キマシテ全ク金錢債務ニ關係スル法律案トハ申シナガラ必ズシモ是ガ全部除外セラレルモノモ考ヘラレナイ、伺ヒマス要點ハ此御改正ハ固ヨリ社會立法ト云フモノヲ主トセラレマンテ、數年以來懸案ニナッテ居リマスル所ノ農業ニ付キマシテモ支障ヲ起シハシマイカ

ト云フヤウナ心配モアリマス、尙ホ之ニ依リマシテ或ハ小作爭議ト云フヤウナモノガ一層高マリハセヌカト云フヤウナ心配モルコトデアリマスコトハ、是ハ誠ニ私等モ能ク了知イタシマスノデアリマス、併ナガラ一方又債權者デアリマス所ノ地主ノ方面ノコトモ、又能ク御考慮ヲ願ハナケレバナラスト思フノデアリマス、殊ニ私ハ此豫算總會ニ於キマシテモ中小地主ガ年々衰頽イタシマシテ、殆ド各農村ノ中堅タル中小地主ガ衰亡廢頽ニ進ミツツアリマス、殊ニ地方農村ト致シマシテモ、國家ノ自治ノ基礎上カラ申シマシテモ、各方面カラ申シマシテモ之ヲ憂慮イタシテ居ルノデアリマス、斯ルガ、地主小作間ノ債權債務ノ關係ハ、固ヨリ物品即チ玄米ヲ以チマシテ地主小作間ノ債權債務ノ契約ガ多イノデアリマス、併ナガラ地方ニ依リマスト桑園トカ、其他果樹トカ、特殊ナルモノデ、必ズシモ玄米ニ依ルノデアリマセヌ、所謂使用料、小作物、金錢ニ依リマシテ小作料ノ契約ヲ致シテ居ルノデアリマス、茲ニ於キマシテ全ク金錢債務ニ關係スル法律案トハ申シナガラ必ズシモ是ガ全部除外セラレルモノモ考ヘラレナイ、伺ヒマス要點ハ此御改正ハ固ヨリ社會立法ト云フモノヲ主トセラレマンテ、數年以來懸案ニナッテ居リマスル所ノ農業ニ付キマシテモ支障ヲ起シハシマイカ

○政府委員(大森洪太君) 只今ノ御尋ニ對トニナリマシテ、茲ニ小作料ト、此差押ニ關シマスル此法律ト關係ヲ最モ明カニ御説明ヲ願ツテ置キマスト云フコトガ、此農村、所謂農業債權者ノ主ナ部分ニ對シマシテ、非常ニ必要ナ事柄デヤナイカト思フノデアリマス、尙ホ金錢債務デアリマスカラシテ居ルノデアリマス、茲ニ於キマシテ全ク金錢債務ニ關係スル法律案トハ申シナガラ必ズシモ是ガ全部除外セラレルモノモ考ヘラレナイ、伺ヒマス要點ハ此御改正ハ固ヨリ社會立法ト云フモノヲ主トセラレマンテ、數年以來懸案ニナッテ居リマスル所ノ農業ニ付キマシテモ支障ヲ起シハシマイカ

ト云フヤウナ心配モアリマス、尙ホ之ニ依リマシテ或ハ小作爭議ト云フヤウナモノガ一層高マリハセヌカト云フヤウナ心配モルコトデアリマス、時間ガ短イノデ、致サレルノデアリマス、時間ガ短イノデ、成ルベク簡単ニト云フコトデアリマスカラコトモ、又能ク御考慮ヲ願ハナケレバナラスト思フノデアリマス、殊ニ私ハ此豫算總會ニ於キマシテモ中小地主ガ年々衰頽イタシマシテ、殆ド各農村ノ中堅タル中小地主ガ衰亡廢頽ニ進ミツツアリマス、殊ニ地方農村ト致シマシテモ、國家ノ自治ノ基礎上カラ申シマシテモ、各方面カラ申シマシテモ之ヲ憂慮イタシテ居ルノデアリマス、斯ルガ……大體地主小作間ニ致シマスル關係ヲ、本法ノ立案ニ際シマシテ如何ナル概念デ御立案ニナリマシタカト云フコトニ付キマシテハ、大體ノコトヲ此際御尋シタイト思フノデアリマス

○政府委員(大森洪太君) 只今ノ御尋ニ對トニナリマシテ、御承知ノ通リニ、本案ハ民事訴訟法中ノ改正法律案デアリマシ案ハ民事訴訟法中ノ改正法律案デアリマシテ、從テ單ニ債務者ノ利便ノミニ限ラズ、債權者ノ方面モ私共トシテハ十分ニ考慮ヲ致シタ積リデアリマス、詰リ強制執行ノ問題デアリマスカラ、斯様ナ事柄ハ債權者、債務者ノ利害ノ調節ノ問題ニ相成ルノ問題デアリマスカラ、斯様ナ事柄ハ債權者、債務者ノ利害ノ調節ノ問題ニ相成ルノ問題デアリマシテ、從テ債權者關係ヲモ十分ニ考慮シツツ本立案ヲ致シタ次第デアリマス、尙ホ小作關係ニ如何ナル影響ヲ持ツカルノハ然ラバ如何ナルモノガ入ルカ、是ハ現行法ニ既ニ何等ノ制限ヲ設ケテ居リマセヌカルノハ、金錢債權ニ基イテ執行イタシマスル場合ニ限ルノデアリマス、其金錢債權ニルノハ、金錢債權ニ基イテ執行イタシマスル場合ニ限ルノデアリマス、其金錢債權ニハ然ラバ如何ナルモノガ入ルカ、是ハ現行法ニ既ニ何等ノ制限ヲ設ケテ居リマセヌカルノハ、金錢債權ナラバ總テガ此問題ニ當ルノラ、金錢債權ナラバ總テガ此問題ニ當ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、肥料代ノ債權ト云フヤウナモノモ是カラ除外ハセラナイ譯デアリマス、デスカラ此五百七

十條ノ改正ノ問題ハ、其働く現行法ト同様  
デアリマシテ、唯其限度ガ現行法ニ比シテ  
一个月カラ三个月ニ延ビタ、斯ウ云フ次第  
デ足リナイカモ知レマセヌガ、尙ホ御尋ニ  
依リマシテ御答ヲ申上ゲタイト存ジマス  
○委員外議員(絲原武太郎君) 只今ノ御答  
辯ニ依リマシテ大體ニ於キマシテ、小作料  
ニ關シマスル事項ハ了承イタシマシタ、唯  
重ネテ申上ゲマスガ、若シ小作料ノ契約ガ  
金錢デアリマスレバ、是ハ已ムナク受ケナ  
ケレバナラヌコトヲ地主ハ覺悟シナケレバ  
ナラヌト思フノデアリマス、是ハ債權者ト  
致シマシテハ、全國其關係スル所ガ比較的  
少イノデアリマスガ、是ハ矢張リ關係スル  
モノト今ノ御答辯デハ了承イタシマシタ、  
其他ニ付キマシテハ、私ハ地方ニ在住イタ  
シマシテ其實情カラ考ヘマシテ、極メテ今  
回ノ此改正ハ局ニ御當リニナル御方ガ、事  
件ガ發生イタシマスレバ、此農業債權者、  
農業債務者、此間ノ取扱ニ付キマシテハ、  
餘程慎重ニ其兩者間ノ地位ト利害トヲ御考  
察ニナリマシテ、單ニ此法案ガ社會立法デ  
アルカラト云ツテ、偏シタヤウナコトガアル  
ヤウナコトニナリマスト、或ハ法ノ改正ノ

無キニシモ非ズト云フヤウナ感ジラ有シ  
テ居ルノデアリマシテ、私ノ感想ヲ併セマ  
シテ、此點ニ付キマシテ希望ヲ申上ゲテ置  
キ、私ノ質問ハ終リタイト思ヒマス  
○委員外議員(上松泰造君) 許可ヲ得タイ  
ノデスガ、一寸絲原サンノ御質問サレマシ  
タコトニ關聯シテ居リマスガ、今少シク御  
尋シタイコトガアルノデスガ……

保護スルニ當リマシテ、國家ガ之ヲ保護シマスナラバ無論問題ハナイノデアリマスガニ、債權者ノ負擔ニ於テスルト云フ立前ニナツテ居リマスガ、此立前ガ、實ハ此問題ガ農村ニ重大ナ關係ニナツテ居リマスル以上ス譯デアリマス、是ハドウカ國家ノ負擔ニ於テ爲スコトハ出來ヌモノデアルカ、ドウシテモ矢張リ債權者ノ負擔デ爲サナケレバナラヌモノデアルカ、其邊ヲ伺ヒタイト田

云フコトハ適當デナイト思フカラ國家ニ於テ適當ナ救濟方法ヲ講ズルノハドウデアルカト云フ御話デアリマスガ、農民等ノ窮状ヲ國家ニ於テ救助イタシマスルコトハ、別ナ方法ニ於テヤツテ居リ、又ヤルベキモノト思フノデアリマス、今既ニ生ジテ居ル債權債務ノ關係ニ付テ、強制執行ノ關係ヲドウ定ムルカト云フコトハ、矢張リ其關係ニ於テ法律ノ定メテ居ル所ヲ若干變更スルコトニ依ツテ行フ外致シ方ナイト思ヒマス、此法案ハ今日マデアリマスル債權債務ニ付キマシテハ、成程債權者ガ迷惑ヲスル、反對ナルノデアリマスルガ、併シ將來ノコトヲ

考ヘマスルナラバ、此法案ノ改正ニ依リマシテ、將來ノ債權債務ノ關係ハ將來ノ債權者

債務者タルモノが考慮イタヌノデアリマスルカラ、是ハ問題ニナラスト思フ、結局過去ニ於ケル債権債務ノ關係ニ付テ債務者ガ

利益ヲ得、債權者が若干ノ損失ヲ生ズルノ  
デアリマスルガ、是ハ已ムヲ得ナイコトデ  
アルト思ヒマス

○委員外議員(上松泰造君) モウ一ツ伺ヒ  
タイノデスガ……

○委員長(木場貞長君) 實ハ公務上ノコトニ付テ差支ヘル場合ガアリマスルカラ、ド

保護スルニ當リマシテ、國家ガ之ヲ保護シマスナラバ無論問題ハナイノデアリマスガニ、債權者ノ負擔ニ於テスルト云フ立前ニナツテ居リマスガ、此立前ガ、實ハ此問題ゞ農村ニ重大ナ關係ニナツテ居リマスル以上農村ノ事情ニ照シマシテ大變心配ニナリフス譯デアリマス、是ハドウカ國家ノ負擔ニ於テ爲スコトハ出來ヌモノデアルカ、ドレシテモ矢張リ債權者ノ負擔デ爲サナケレバナラヌモノデアルカ、其邊ヲ伺ヒタイト田畠、又一つ、小作搾米ノ請求デアル以上ハ是ハ關係ナイト云フコトヲ今承リマシテ、其點ハ稍々安心イタシマシタガ、是ハ搾米ト雖モ金ニ換算シタ時ニハ矢張リ金錢債權ナルノデアル、又此貸地料ノ中ニハ矢張リ金錢ヲ以テ貸シテアリ、米デ貸シテアリコニナツテ居リマスガ、サウ云フモノヲ矢張リ此方ノ範圍内ニ入りマシテ、矢張リ差押ノ出来ナイコトニナリマスルカ、其二ツヲ伺ヒタイ

債權債務ノ關係ニ於テ、債務者ニ或ル利害ヲ與フルモノヲ債權者ノ損害ニ於テスルト

ウゾ總テヲバ十五分マデ切上ゲタイト思ヒ  
マスカラ……

○委員外議員(上松泰造君) ソレデハ極メ  
テ簡單ニ申シマスガ、一个月ヲ三ヶ月ニ延バ  
スト云フコトハ三倍ノ延長デアリマスガ、  
餘リニ是ハ急激ナル變化デナイカト思ヒマ  
ス、今一ツハ五百七十條ノ一二ニ依リマシテ、  
裁判官ノ裁定ニ依リマシテ、如何ヤウニモ  
差押ヘルモノガ變更ガ出來ルト云フコトガ  
アリマスレバ、此五百七十條ノ二ノ改正ダ  
ケデ足リルノデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ  
思ヒマス、ソレニ付キマシテ、伺ヒタイト  
思ヒマス

○國務大臣(小原直君) 成程現行ノ一个月  
ヨリ三个月ニ致シマスカラ三倍ニハナリマ  
スガ、倍ハ倍デモ、一个月ガ三个月ニナル點  
ニ於テハ、ソレ程甚シイ變化デアルト政府  
ハ認メナイノデアリマス、多少債權者ニハ  
御迷惑デアラウガ、是ダケノ我慢ラシテ頂  
イテ、現下ノ農民等ノ窮状ヲ救フコトニ同  
情ヲ持ツテ頂キタイト云フ趣旨デ規定シタ  
ノデアリマス

○委員外議員(上松泰造君) 實ハ心配シマ  
スノハ、農村ノ一番痛感シマスル小作爭議  
ヲ心配スルノデアリマス、小作争議ハ、御  
承知ノ方モアルト思ヒマスガ、大體争議ノ

仕方ニハ、不納同盟等デ、撻米ヲ全部出サ  
ナイデ、小作人ハ食糧ヲ全部持テ居リ、地

主側ハ食糧モ何モナイ、土地ノ負擔モスル  
ト云フ譯デ、ソレガ訴訟戰法ニナリマシテ、  
長ク引摺ッテヤルト云フヤウナコトニナッタ  
ノデアリマスガ、是ハ民事訴訟法ノ改正ヤ  
ラ調停法ニ依リマシテ、段々争議ガ片付イ  
タノデアリマスガ、今食糧ガ十分ニナルト  
云フコトガ争議ヲ誘發シ、助長スルコトニ  
ナルノデハナイカ、先刻ソレハ別問題ダト  
云フコトデアリマシタガ、ソレハ如何デア  
リマスカ、御考ヲ承ハリタイト思ヒマス

○國務大臣(小原直君) 此案ガ成立イタシ  
マシテモ、私共ハ小作争議ガ其爲ニ植エル  
トハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、小作ハ大  
體御話ノ如ク、物納ガ大部分デアリマス、  
矢張リ其範圍ニ於テハ此改正ニ依ツテ變更  
ヲ生ズルコトハナカラウト思ヒマス

○男爵德川喜翰君 午前ニ質問イタシマシ  
テ、午後ニ討論ニ入ル御決定デゴザイマス  
ガ、其討論ニ入ル案ハ裁判所構成法中改正  
法律案外七件、民事訴訟法中改正法律案一  
件デゴザイマスガ、私ハソレニ附加ヘマシ  
テ、衆議院提出デハゴザイマスガ、刑事訴  
訟法中改正法律案ヲ一應討論願ツタラ如何  
ノデアリマス

○委員外議員(上松泰造君) 實ハ心配シマ  
スノハ、農村ノ一番痛感シマスル小作争議  
ヲ心配スルノデアリマス、小作争議ハ、御  
承知ノ方モアルト思ヒマスガ、大體争議ノ

バ、私ハ之ニ付テ少シ質問ヲシタイト思ヒ  
マス

○委員長(木場貞長君) ソレ等ノコトハ午  
後ノ議事ノ進行ノ如何ニ依リマシテ、衆議  
院案ハ外ノ案ガ出テカラデモ改メテ質問サ  
レテ、討論ニ移ツテモ宜シカラウト思ヒマ  
ス……ソレデハ一應休憩イタシマス、午後  
ハ一時半カラ再開イタシマス

午後零時十七分休憩

午後一時五十五分開會

○委員長(木場貞長君) 開會イタシマス、  
質疑ノ終タモノヲ順次議題ニ致シマス、裁

判所構成法中改正法律案、之ヲ議題ニ致シ  
マス

○委員長(木場貞長君) 全會一致ト認メマ  
ス、可決ニナリマシタ、次ニ裁判所ノ廢止  
及設立ニ關スル法律案ヲ議題ニ致シマス、  
立ヲ願ヒマス

(全員起立)

○委員長(木場貞長君) 全會一致ト認メマ  
ス、可決ニナリマシタ、次ニ裁判所ノ廢止  
及設立ニ關スル法律案ヲ議題ニ致シマス、  
御討論ヲ願ヒマス

○委員長(木場貞長君) 是ハ構成法ガ可決ニナ  
レバ當然ノモノデアリマスカラ私ハ原案通  
リ可決シテ可ナルモノト認メマス

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○委員長(木場貞長君) 御異議ナイト認メ  
テ宜シウゴザイマスカ……御異議ナイト認  
メマス、可決ニナリマシタ、大正二年法律  
第九號中改正法律案、之ヲ議題ト致シテ討

論ニ入リマス、原案通り御異議アリマセヌ  
カラ見テモ面白クナイト考ヘテ居ルノデア  
カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

リマスガ、寧ロ是ハ地方裁判所ヲニツ置ク  
ト云フ案ノ方ガ私ハ合理的ト思フノデアリ  
マスガ、強ヒテ此案ニ反對スル程ノ理由モ  
ナイノデアルシ、又會期切迫ノ折柄デアリ  
マスカラ私ハ無修正デ全部可決セラレルコ  
トヲ希望イタシマス

○委員長(木場貞長君) 別ニ御發議ガナイ  
ナラバ採決イタシマス、原案全部ニ付キマ  
シテ採決イタシマス、原案贊成ノ諸君ノ起  
立ヲ願ヒマス

（全員起立）

○委員長(木場貞長君) 全會一致ト認メマ  
ス、可決ニナリマシタ、次ニ裁判所ノ廢止  
及設立ニ關スル法律案ヲ議題ニ致シマス、  
御討論ヲ願ヒマス

○委員長(木場貞長君) 是ハ構成法ガ可決ニナ  
レバ當然ノモノデアリマスカラ私ハ原案通  
リ可決シテ可ナルモノト認メマス

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○委員長(木場貞長君) 御異議ナイト認メ  
テ宜シウゴザイマスカ……御異議ナイト認  
メマス、可決ニナリマシタ、大正二年法律  
第九號中改正法律案、之ヲ議題ト致シテ討

論ニ入リマス、原案通り御異議アリマセヌ  
カラ見テモ面白クナイト考ヘテ居ルノデア  
カ



## ○委員長(木場貞長君) 衆議院提出第十九

號刑事訴訟法中改正法律案、之ヲ議題ニ供シマス、政府ノ所見ヲ伺ヒマス

## ○國務大臣(小原直君) 只今議題ニナリマ

シタ、別案ノ刑事訴訟法中改正法律案即チ云フ案四百四十三條ニ但書ヲ加ヘ尙ホ四百四十三條ノ二ト云フ新條項ヲ設ケルト云フ案デアリマス、是モ亦議員提出案トシテ提出セラレタノデアリマスルガ、最初ニ出来マシタ原案ハ是ト稍違タ條項モアリマシタガ、結局此二ツニノ條項ダケヲ改正案トシテ提案セラレテ、委員會ニ於テハ可決ニナッタノデアリマス、併シ政府ト致シマシテハ此案ニハ遺憾ナガラ同意ヲ表スルコトガ出來ナイノデス、御承知ノ如ク現行刑事訴訟法制定ノ際ニ大審院ノ事實審理ト云フ新シイ制度ヲ設ケマシテ、刑事裁判ニ於キマシテハ上告ニナリマシタ事件ノ原裁判ガ量刑不當ナル顯著ナル事由アル場合、又事實誤認アリト認ムベキ顯著ナル事由アル場合ニ於テハ之ヲ上告ノ理由トナスコトガ出来ルト云フ規定ヲ設ケマシタ、而シテ大審院ニ於テ審理ノ末、上告理由アリト認メマス場合ニ於テハ、更ニ事實ノ審理ヲ爲スコトガ出來ル、而シテ量刑不當、事實誤認ノ顯著ナル理由アリト認ムベキ場合ニ於テ

ハ事實審理ノ結果、原判決ヲ破毀シテ、更

ニ裁判ヲ爲ス、斯ウ云フコトニナッタノデアリマス、然ル所、今日ノ大審院ノ事情ト致シマシテハ、斯ノ如ク大審院ヲ以テ事實上ノ最高裁判所トスル形ニシテシマフコトハ種々ノ點ニ於テ支障ガアルノデアリマス、

大審院ハ飽迄モ法律統一ノ爲ニ設ケラレタル最高裁判所デアリマシテ、法律上ノ點ニ

於テ、下級裁判所ヲ指導スル立前ニ於テ設ケラレタルモノデアリマスルガ、之ニ更ニ

事實上ノ最高裁判所タル性能ヲ與ヘテ、事實ニ付テ審理セシメルト云フコトハ決シテ

ケラレタルモノデアリマスルガ、之ニ更ニ

事實上ノ最高裁判所タル性能ヲ與ヘテ、事實ニ付テ審理セシメルト云フコトハ決シテ

ケラレタルモノデアリマス、之ニ更ニ

事實上ノ最高裁判所タル性能ヲ與ヘテ、事實ニ付テ審理セシメルト云フコトハ決シテ

ハ昨年モ是ト類似ノ案ガ提案セラレ、本年亦此案ガ提案セラレテ遂ニ可決ニナッテ、貴族院ニ送ラレテ參ッタノデアリマス、此案ヲ細ニ見マスルト、大審院ニ於テ原裁判ニ量刑不當ナル顯著ナル理由アリ、又ハ原裁判ノ認メタル事實ガ著シク誤アリト云フ顯著ナル理由アリタル場合ニ於テハ、決定ヲ以テ實事審理ヲナシ、更ニ審理ヲ行ヒマシタ上、自ラ裁判スルト云フコトヲ改メテ、

ハ昨年モ是ト類似ノ案ガ提案セラレ、本年亦此案ガ提案セラレテ遂ニ可決ニナッテ、貴族院ニ送ラレテ參ッタノデアリマス、此案ヲ細ニ見マスルト、大審院ノ見ル所ト

裁判所ト同等ノ他ノ裁判所ニ移送シマシタ場合ニ、其移送ヲ受ケタル裁判所ガ事實ノ

審理ヲ致シマテ、大審院ノ見ル所ト異ナル裁判ヲ致シマスル場合、即チ原

裁判ソレ自體ガ正シノデアルト云フ顯著ナル理由アリタル場合ニ於テハ、決定ヲ

以テ實事審理ヲナシ、更ニ審理ヲ行ヒマシタ上、自ラ裁判スルト云フコトヲ改メテ、

之ヲ大審院ノ認定ニ依ツテ自ラ裁判スルコトモアリ、或ハ原裁判所ト同等ノ他ノ裁判所ニ移送シテ、事實審理ヲ爲サシムルコト

之ヲ大審院ノ認定ニ依ツテ自ラ裁判スルコトガアリマスルト、大審院ノ見ル所誤レ

コトガアリマスルト、大審院ノ見ル所誤レ

リト云フヤウナ結果ヲ生ズルコトニナリ

マシテ、大審院ノ威信尊嚴ヲ傷ケル處ガア

リト云フヤウナ結果ヲ生ズルコトニナリ

マシテ、大審院ノ威信尊嚴ヲ損スル如キ結果ヲ生ゼシメル

コトニ相成リマシテハ、改正ニ非ズシテ改點ヲ改正セムトシテ、却ツテ大審院ノ裁判ノ

威信尊嚴ヲ損スルガ如キ結果ヲ生ゼシメル

コトニ相成リマシテハ、改正ニ非ズシテ改點ヲ改正セムトシテ、却ツテ大審院ノ裁判ノ

威信尊嚴ヲ損スルガ如キ結果ヲ生ゼシメル

コトニ相成リマシテハ、改正ニ非ズシテ改點ヲ改正セムトシテ、却ツテ大審院ノ裁判ノ

威信尊嚴ヲ損スルガ如キ結果ヲ生ゼシメル

コトニ相成リマシテハ、改正ニ非ズシテ改點ヲ改正セムトシテ、却ツテ大審院ノ裁判ノ

威信尊嚴ヲ損スルガ如キ結果ヲ生ゼシメル

コトニ相成リマシテハ、改正ニ非ズシテ改點ヲ改正セムトシテ、却ツテ大審院ノ裁判ノ

威信尊嚴ヲ損スルガ如キ結果ヲ生ゼシメル

コトニ相成リマシテハ、改正ニ非ズシテ改點ヲ改正セムトシテ、却ツテ大審院ノ裁判ノ

威信尊嚴ヲ損スルガ如キ結果ヲ生ゼシメル

不當或ハ事實誤認アリト認メ、破毀ノ上原裁判所ト同様ノ他ノ裁判所ニ移送シマシタ場合ニ、其移送ヲ受ケタル裁判所ガ事實ノ

裁判所ト同様ノ他ノ裁判所ニ移送シマシタ場合ニ、其移送ヲ受ケタル裁判所ガ事實ノ

此調査會ニ是等ノ問題ヲ付議シテ適當ナル  
正案ヲ提案ヲ致シタイト云フ 考ヲ持ッテ居  
リマス、果シテ左様ナ案ガ得ラレルカドウ  
カハ茲ニ豫言ハ出來兼ネル次第デアリマス  
ルガ、免ニ角此案自體ニ於テハ、政府トシ  
テハ安心シテ之ガ宜シト申上ゲル迄ニハ  
參ラナイノデアリマス、ソレ故ニ遺憾ナガ  
ラ此案ニハ政府トシテハ反對ノ意思ヲ表示  
セザルヲ得ナイ譯デアリマス

○委員長(木場貞長君) 衆第八號刑事判決  
宣告猶豫ニ關スル法律案

○國務大臣(小原直君) 是モ衆議院ニ於テ  
議員側ヨリ提案セラレタモノデアリマスル  
ガ、政府ト致シマシテハ、刑ノ執行猶豫ノ  
制度ト合セテ、只今司法省ニ設ケラレテ居  
ル刑法改正委員會ニ於テ審議中デアルノデ  
アリマシテ、茲ニ審議ノ上適當ナル案ガ出  
マシタナラバ、政府案トシテ提案イタシタ  
ハ尙ホ適當ナリヤ否ヤ調査ヲ要スル次第デ  
アリマスカラ、今ノ時ニ於テハ反對ヲ表ス  
ル次第デアリマス

ノ第一回ノ御審議ノ際ニ御審議ニ相成リマシタ、借地借家調停法中改正法律案ト同趣旨ノ改正ヲシヤウト云フモノデアリマス、ソレト同一ノ理由ニ依リマシテ、此案ニモ政府ト致シマシテハ直ニ御同意ガ申兼ネルノデアリマス、全然其内容ハ前回申述べタ所ト同ジコトデアリマスカラ、省略ヲ致シテ御諒承ヲ願ヒマス

○委員長(木場貞長君) 衆第十六號、司法保護法案

○國務大臣(小原直君) 此法案ハ司法保護事業ニ關シテ斯様ナ制度ヲ設ケルノガ宜力ラウト云フコトデ議員側カラ提案ヲサレタノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ色ニ政府トシテハ研究ヲ致サナケレバナラヌノデアリマシテ、何レ先程申シマシタ司法制度調査會ニ於テモ考究ヲ重ねタイト考ヘテ居リマス、ソレ故ニ直ニ此案ニ同意スルコトハ出來ナイノデアリマス

○委員長(木場貞長君) 司法省關係ノ法案ノ説明ハ之デ終了シマシタ、付託セラレテ居ル法案ノ中ニ外務省關係ノモノガ一ツ残ツテ居リマス、マダ時ガ早イヤウデアリマスカラ引續イテ此法案ノ説明ヲ聽イテ置キ

○仁井田益太郎君 チヨット極ク簡単ナコ  
トデスガ、今ノ司法省關係ノコトデ伺ッテ  
キタイデスガ、此事實審理ニ關スル問題デ  
スガ、原判決ヲ破毀シテ原裁判所ニ接近シ  
タル同等ノ裁判所ニ事件ヲ移送スルコトガ  
出來ルト、斯ウナルト大審院ト事實ノ判断  
ガ違ツテ、大審院ノ威信ニ關スル、斯ウ云フ  
コトデ御反對ダツタト思ヒマスガ、ソレナラ  
バ其場合ニ於ケル大審院ノ事實上ノ意見ニ  
付テハ下級裁判所ヲ拘束スルコトサヘアレ  
バ一向差支ナイ、ソレハ寧ロ此案ニ缺ケテ  
居ルグラウト私ハ思フ、デアルカラソレナ  
ラバ御贊成ニナシテモ宜イデヤナイカト思  
フ、質問ノ形ニスレバサウナルノデスガ、  
ソレカラ大審院ハ御承知ノ通リ事件ガ非常  
ニ輻湊シテ延ビル、此頃ハ殊ニ甚ダシイコ  
トハ御承知ノ通リデアリマスガ、斯ウ云フ  
事實ノ審理ノヤウナコトハ、矢張リ適當ナ  
場合ニ於テハ下級裁判所ニ移送スル途ガ開  
ケル方ガ、其方ガ便利デヤナイデセウカ、  
大審院ノ部ヲ殖ヤスト云フコトハナカヽ  
容易デヤナイカラ、ソレヨリハ寧ロ司法行  
政ニ關スルコトナラ御承知デアリマセウ  
ガ、下級裁判所ヲ殖ヤスト云フコトハ比較  
的容易イコトデ、事實審理ト云フヤウナチ  
ヨット横道ニ這入ッタヤウナモノガ刑事訴訟

法ノ改正ノ際ニ出來タモノデ、是ハ必ズシモ良イカ惡イカ、無論御判断ガアルノデスガ、必ズシモ良イトハ言ハレヌト云フ現状デアリマスガ、ソレモ前ノ刑事訴訟法ノ改正デ斯ウナツタカラト云フコトヲ維持セラレル必要ハナイヂヤナイカ、寧ロ下級裁判所ニ移送スル方ガ月給ノ安イ判事サンニヤツテ戴クコトガ比較的樂デハナイカト思フノデスガ、サウ云フコトハ十分御考ノアルコトト思ヒマスガ、矢張リ現在ノ刑事訴訟法ノ事實審理ノ制度ガ適當タト云フ御考ノ下ニ先程ノヤウナ御説明ガアツタノカドウカ一應伺ツテ置キマス

當、又ハ事實誤認アリト認ムベキ顯著ナル理由ガアル場合ニ於テ、之ヲ原裁判所ト同等ノ他ノ裁判所ニ移送スルト云フコトニ致シマスル場合ニハ、先程申上ゲマシタヤウトハ、大審院ノ威信尊嚴ヲ損スルカラ困ルト思フノデアリマス、然ラバ只今御話ノ如ク此點ニ關シテ下級裁判所ヲ羈束スルコトニスレバ宜シイデハナイカト云フ御意見デアリマスガ、是モ一應考ヘラレルコトデアルノデアリマス、併ナガラ上級裁判所ノ事實ノ見方ガ下級裁判所ヲ羈束スルト云フコトハ、全ク世界ニ例ヲ見ナイコトデアリマシテ、之ヲ我國ノ法制ノ中ニ採入レテ果シテ適當ノモノカドウカト云フコトハ今直ニ考故ニ左様ナ案ヲ採入レテ事實審理ヲ下級裁判所ニセシムルヤウニ移送ラスルト云フコトガ宜カラウト云フ御答ヲ致シ兼ネルノデアリマス

○仁井田益太郎君 實ハ大審院ノ事實審理ト云フコトモ是ハ誠ニ破天荒ノコトデアルト思フノデスガ、既ニサウ云フコトヲ認メタ以上ハ、ソレハモウ大審院デ事實ノ判断ヲスルノダカラ其事實ノ判断ニ下級裁判所ガ矢張リ拘束セラレルノハ、大審院及下級裁

判所ノ關係デハ當然ノ私ハ歸決ヂヤナイカト思フノデスガ、一方ハソコマデ進シダガ、元ミ是ガ惡イノデスカラ、私ハ事實審理ヲヤシマスケレドモ、今ノ御説明デハチヨット討論ニナリマスケレドモ、感服ヲ致シマセヌノデスケレドモ、今ノ御説明デハチヨット討論ニナリマスケレドモ、感服ヲ致シマセヌ

○國務大臣(小原直君) 左様ナ考モアルト思ヒマスガ、併ナガラ若シ大審院ガ下級裁判所ヲ羈束スルマデニ事實ノ見方ヲ決メヤウトスレバ、相當ニ調ベナケレバナラヌ、ソレ程調ベルノナラバ、寧ロ自ラヤッテモ宜イデヤナイカト云フコトガ出テ來ルノデアリマス、ソコニ一ツノ「ザレンマ」ニ掛カツタヤウナ矛盾ガ生ジマスカラ、安心シテ下級裁判所ヲ羈束スル裁判ヲシテ宜シシト云フコトハ申サレヌノデアリマス

○政府委員(松本忠雄君) 只今御審議ヲ煩ハシテ居リマスル議案ニ對スル外務省ノ意見ヲ一通り御聽キラ願ヒタウゴザイマス、此問題ハ衆議院デ實ハ數年來問題トナッテ居ルコトデゴザイマシテ、嘗テ膠州灣ヲ還付イタシマス時ニ、軍占領當時カラ農業

付イタシマス時ニ、軍占領當時カラ農業ヲ經營イタシテ居リマシタ者ガ、其農業ノ經營ガ繼續出來ナクナッテ引揚ガタ人ガ約四十餘名ゴザイマス、ソレ等ノ人ミガ自分達ガ膠州灣ノ農業ガ經營出來ナクナッタノハ國策ノ犠牲デアルカラ、其農業ガ經營出來ナクナッタコトニ對スル損失ノ補償ヲシテ貴ヒタイト云フコトヲ屢々外務省ヘモ申出シテ居リマシタケレドモ、此處兩三年續ケテ衆議院ニ法律案トシテ提案ニナッタノデ

モ宜シウゴザイマスガ、マダ早ウゴザイマスカラ、濟マシテ置イタラドウデゴザイマセウ、御異議ガナケレバ左様イタシマス、外務省ノ方ニ移リマス……ソレデハ續行イタシマス、衆第二十號舊獨逸膠州灣租借地還付ニ關スル條約實施ニ伴フ損失ノ補償ニ關スル法律案、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

○委員長(木場貞長君) 今日政府カラ御説明ニ相成リマシタ諸案ニ付キマシテハ質問ハ次回ニ譲リタイト思ヒマス、御異議ガナケレバサウ致シマス、從ヒマシテ司法省ノ關係諸案ハ今日ハ是デ終了シタイト思ヒマスガ、ソレデ御差支ガアレバ、變更シテスガ、ソレデ御差支ガアレバ、變更シテ

モ宜シウゴザイマスガ、マダ早ウゴザイマスカラ、濟マシテ置イタラドウデゴザイマセウ、御異議ガナケレバ左様イタシマス、外務省ノ方ニ移リマス……ソレデハ續行イタシマス、衆第二十號舊獨逸膠州灣租借地還付ニ關スル條約實施ニ伴フ損失ノ補償ニ關スル法律案、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

マシタ當時ハ、獨逸ノ租借地ヲ其儘日本ニ於テ繼續シテ租借シヨウト云フ國論モ強カツタノデゴザイマスルガ、其後大正四年ニ此膠州灣ノ租借地ヲ支那ニ還付スル、併シ帝國ノ專管居留地ト、他ノ外國人ノ爲ノ共同居留地トニツノ居留地ヲ造ルト云フコトノ方針ヲ決定イタシマシテ、支那トノ間ニ是ハ條約ノ取決メトナツタノデゴザイマス、其際ニ日本ノ專管居留地ハ成ルベク其面積ヲ廣クシテ、サウシテ日本人ガ膠州灣ニ於テ軍占領當時ニ色ニ經營シテ居タヤウナ事業ハ、農業ト云ヒ鹽田ト云ヒ繼續シテ經營出來ルヤウニシタ伊マシタ、然ルニ其後ノ當局ノ方針デゴザイマシタ、然ルニ其後巴里ノ講和會議ニ臨ミマシテ方針ヲ一變イタシマシテ、帝國ノ專管居留地ヲ求メルト云フコトハ拋棄イタシマシテ、唯ツノ共同居留地ヲ設ケルト云フコトニ方針ガ變ヘラレタノデアリマス、然ルニ其後「ワシントン」會議ヲ開キマシテ、「ワシントン」會議ニ於テ山東問題ニ付テ交渉協議ヲ進メマシタ結果、更ニ方針ヲ再訂イタシマシテ、居留地ノ設置ト云フコトノ要求ハ全部拋棄イタシマシテ、膠州灣ハ其儘支那ニ還付ス

領當時カラ、此地方ニ農業ヲ經營シテ、此儘繼續シテ行ケルト思フテ居ツタ人ニ取マス、其結果是等ノ人ニガ、政府カラ何等カノ補償ヲ貰ヒタイト云フノガ此法案ノ趣旨デゴザイマスケレドモ、政府ト致シマシテハ之ニ對シテ補償ヲ致スト云フ心持ハナイノデゴザイマス、是等ノ人ニノ損害ヲ見積ッテ、之ニ對シテ國家ガ補償スルト云フ筋合ノモノデヤナカラウト思ヒマス、併シ政府ノ心持ヲ申シマスレバ、是等ノ海外發展ノ先驅者トナツタ人ニガ、國策ノ變更ノ結果、自分ガ折角企テタ事業ガ繼續スルコトガ出来ナクナツタ云フコトニ對シテハ、頗ル御氣ノ毒ナコトニ存ジテ居リマス、從テ出來マスルコトナラバ救恤ト云フヤウナコトデモ致シタラト云フヤウナ心持ヲ持テ居ルコトハ、申上ゲルニ吾デナインデゴザイマス、併シ然ラバ何時之ヲ救濟スルトカ、救恤スルトカ、如何ナル金額ヲスルカト云フコトニナリマスレバ頗ル事容易ナラヌコトデゴザイマシテ、財政上ノ見地カラモ見ナケレバナリマセヌシ、他ノ同ジヤウナ事件ガアルカモ知レマセヌカラ、ソレ等ノ問題ニ付テモ同ジヤウナ取扱ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ事態モ起リマセウシ、ソレ等ノ點ニ付テモ考慮

上ノ情勢、國政一般ノ見透シカラ申セバ、時スルカト云フコトハ、遺憾ナガラ政府トシテハ御答ヲ申上げ兼ネルト云フ事情デアリマス、即チ之ヲ要約致シテ申シマスレバ、是等ノ人ノ事情ニハ大變氣ノ毒ナ所モ發見イタシマスケレドモ、現實ノ問題トシテ之ヲ救濟スルト云フコトニ付テハ、政府ト致シマシテハ何時如何ナル程度ニ於テスルト云フコトニ付テハ、此際明言イタシ兼ネル、之ガ政府ノ一通リノ考デゴザイマス

○委員長(木場貞長君) 本案ハ便宜上直ニ質疑ニ移リタイト思ヒマス

○仁井田益太郎君 是ハ、私ハ別ニ今ノ政府委員ノ説明ニ反対デモ何デモナイ譯デスガ、私等ノヤウナ者デモ隨分古クカラスウナ御考ノ出マスコトハ私ハ御尤ノコトト存ジマス、併シ之ニ付テノ行掛ヲ申上げマス云フ意見ヲ聽イテ居ル、救濟ナドノ運動ノアツタ云フコトヲ……斯ウ云フ程度デハ

○政府委員(松本忠雄君) 私ノ申上ゲル政府ノ意向ト云フト云フノハ、只口先ダケノ實際ノ救濟ニナラヌデヤナイカト云フヤウナ御考ノ出マスコトハ私ハ御尤ノコトト存ジマス、併シ之ニ付テノ行掛ヲ申上げマスレバ、實ハ外務省ト致シマシテハ、在外邦人ガ不慮ノ事變或ハ國策ノ犠牲トナツテ損害ヲ蒙ツタ者ガ相當多カツタノデアリマス、ノデゴザイマス、貸付ケタ金ノ利息ハ今取立テテ居リマスケレドモ、マダ返ス時期ニ達シテ居リマセヌケレドモ、ソレニ付キマシテ只今政府貸付金ノ整理ニ關スル法律案ヲ提出イタシマシテ、其内容ノ中ハ此青島ノ居留民ニ對スル三百萬圓貸付ノ問題モノ居テ居ルノデアリマシテ、是ハ只今衆議院デ御審議ヲ煩ハシテ居ル最中デアリマスガ、此點ニ付テ農業者ニ幾ラノ金ガ渡ツテ居ルカ一々知リマセヌケレドモ、唯我ニハ其當

恤ノ途ヲ講ズルト云フコトハ出來ナイデセウカ、例ヘバ滿洲トカ云フ方面デモ色ニ土地ヲ與ヘルトカ何トカ、何カシラ、無ケレバ唯氣ノ毒デアル、救恤スル考ガアルト云フダケデヤ、政府自身ガ救濟ノ意思ガナイト云フコトニ結局ナルノデヤナナイデセウカ、何カ途ヲ一ツ御考ニナツテハドウカ、私ハ政府當局デモナシ、又ドウ云フ方法ガアルト云フコトヲ具體的ニ考ヘテ居ルノデヤナイノデスケレドモ、隨分古クカラスウ云フ聲ヲ聽イテ居ルモノデスカラ……

○政府委員(松本忠雄君) 私ノ申上ゲル政府ノ意向ト云フト云フノハ、只口先ダケノ實際ノ救濟ニナラヌデヤナイカト云フヤウナ御考ノ出マスコトハ私ハ御尤ノコトト存ジマス、併シ之ニ付テノ行掛ヲ申上げマスレバ、實ハ外務省ト致シマシテハ、在外邦人ガ不慮ノ事變或ハ國策ノ犠牲トナツテ損害ヲ蒙ツタ者ガ相當多カツタノデアリマス、ノデゴザイマス、貸付ケタ金ノ利息ハ今取立テテ居リマスケレドモ、マダ返ス時期ニ達シテ居リマセヌケレドモ、ソレニ付キマシテ只今政府貸付金ノ整理ニ關スル法律案ヲ提出イタシマシテ、其内容ノ中ハ此青島ノ居留民ニ對スル三百萬圓貸付ノ問題モノ居テ居ルノデアリマシテ、是ハ只今衆議院デ御審議ヲ煩ハシテ居ル最中デアリマスガ、此點ニ付テ農業者ニ幾ラノ金ガ渡ツテ居ルカ一々知リマセヌケレドモ、唯我ニハ其當

時ハ焦眉ノ急ダケハ救ヘタト云フコトニ

ナッテ居リマス、併シ其金モ返ラナケレバナ

ラヌ時期ニナッテ居ルノデアリマスカラ、サ

ウ云フ風ナコトニ依ッテ何等カノ又救濟ノ途

ガ考ヘラレルノデヤナイカト云フコトヲ考ヘ

ラレルノデアリマス、マア外務省ノ立場ト

致シマシテハ誠ニ御氣ノ毒デゴザイマスカ

ラ、財政當局ニ出來ル限リ諒解ヲ求メマシ

テ、之等ノコトガ口先デナク實現出來ルヤ

ウニハ致シタイト云フ氣持デ居ルコトハ勿

論デゴザイマス

○男爵德川喜翰君 先程ノ御話ニ依リマス

ルト、外ニモマダ斯ウ云フ例ガアルグラウ

カラ、ソレト調査シ合セテ研究シタイ、今

ノ御話デハ是レ一ツガ残シテ居ルト云フコ

トデ、何レガ本當カチヨット真疑ノ程ガ分リ

兼ネマスガ、先程來ノ御説明ニ依リマスト、

此案ノ御説明デナクシテ唯斯ウ云フ氣ノ毒

ナモノガアルカラ救恤シテヤリタイ、併シ

現實ノ問題トシテ考ヘルト、何時實現出來

ルカ分ラナイ、是ハ此案ニ對シテデナクテ

モ説明シ得ルコトデアル、併シ此案ヲ見マ

スレバ此通り補償金三百七十五萬圓ト云フ

ヤウニ具體的ニ立案サレテ居ル、之ニ對ス

ル政府ノ御意見ハドウ云フモノデゴザイマ

セウカ、ソレガ一ツ、ソレカラ第一ニハ此案ガ出タ以上ハ大藏當局トモ勿論御協議ニナッテコトト思ヒマスガ、此案ノ具體的ノ點、例ヘバ補償金其他具體的ノ點ニ付テノ此案ノ適否ハ如何御考デゴザイマセウカ、此二點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松本忠雄君) 誠ニ御尤ノ御尋

デアリマシテ、私ノ申上ダ方ガ甚ダ不十分

デゴザイマシタガ、第一ニ私ガ申上ゲマシ

タ外務省ノ在外居留民ノ救恤ト云フコトハ

御話ハ一通リ此議會デ濟シダト云フコトハ

問題トナッテ居ツタモノガ濟シダト云フコト

デアリマシテ、只今問題ニナッテ居リマスヤ

ウナ農耕地ヲ經營シテ居ツタ、ソレガ國策ノ

犠牲トナッテ、農業ノ經營シテ居ツタ、ソレガ國策ノ

コトヲ實行イタシマスル場合ニハ、或ハサ

ウ云フヤウナ同ジヤウナ事案ガ他ニモアリ

ハシナイカト云フコトハ大イニ考ヘナケレ

バナラヌコトト考ヘテ居リマス、先刻申シ

マシタノハ、外務省トシテ大藏省ニ話ラシ

テ居ツタ問題ノ片附イタト云フコトヲ申シ

マシタノデ、ソレ等ハ斯ウ云フ營業ノ繼續

ガ出來ナクナッタ云フノデハナクテ、或ハ

事變ノ爲ニ財產ヲ悉ク燒カレタトカ、或ハ

セヌカ、別ニ御質疑ガナイヤウデアリマス

ガアルト、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ點ハ此案ニ對スル意見ハドウカト云フコトズ、私、ソレヲ申上ゲルコトヲ失念イタシマシテ恐縮ニ存ジマスルガ、此案ニ對スル所ノ政府ノ所見ヲ申上ゲマスレバ、

此二點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○委員長(木場貞長君) 御異議ガナケレバ

端的ニ申上ゲマシテ、政府ト致シテハ同意

ヲ致シ兼ネルノデアリマス、詰リ法律ニ基

キマシテ法律ノ結果トシテ是等ノ人ニ補償

ヲスルト云フコトニハ政府ハ考ヘテ居ラナ

イノデゴザイマス、是ハ衆議院ニ於キマシ

テモ委員會ニ於キマシテ其所見ヲ明カニ致

シマシタ、提案者カラ自分達ハ必ズシモ此

法律ガ宜イト云フノデハナイノダ、此法

律ニ基イテ補償ヲシロト云フノデモナイノ

ダ、賠償シロト云フノデモナイノダ、言葉

ニ別ニ囚ハレ譯デモナシ、字句ニ拘泥ス

ル譯デモナイノダ、此誠ニ氣ノ毒ナ人ニ向ツ

テ幾ラカデモ政府ガ之ヲ救濟シテ貰ヘバ宜

シテハ此法律案ニ向ツテハ反對ダト云フコ

トヲ明確ニ申上ゲテ置ク次第デゴザイマス

○委員長(木場貞長君) 御質疑ハゴザイマ

シテハ此法律案ニ向ツテハ反對ダト云フコ

トヲ明確ニ申上ゲテ置ク次第デゴザイマス

シテハ此法律案ニ向ツテハ反對ダト云フコ

出席者左ノ如シ  
午後二時五十三分散會  
シタラ如何デゴザイマセウ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(木場貞長君) 御異議ガナケレバ

左様イタシマス、次回ハ明日ノ午前十時ト致シマス

政府委員	委員長	木場 貞長君
國務大臣	副委員長	男爵德川 喜翰君
委員	公爵山縣 有道君	
委員外議員	子爵濱尾 四郎君	
	仁井田益太郎君	
	男爵本多 政樹君	
上松 泰造君		
絲原武太郎君		
小原 直君		
外務參與官 松本 忠雄君		
司法政務次官 原 夫次郎君		
司法參與官 子爵舟橋 清賢君		
司法省民事局長 大森 洪太君		
農林省農務局長 小濱 八彌君		